催しで火気器具を使用する場合の「防火対策チェックリスト」

多くの人が集まる催しで、ガスコンロなどの火気器具※を使用する場合は、次のチェック項目を参考に防火対策 を講じましょう。

主催者をはじめ、火気器具を使用する方々が一丸となり、防火対策が万全で安全な催しにしましょう。 ※火気器具とは、ガスコンロ、バーベキューコンロ、ストーブ、ホットプレート及び発電機などです。



◎消火器の使用方法などが分からない場合は、最寄りの消防署にお問合せください。津市(059) 中消防署226-2322/2580、北消防署232-3092、久居消防署254-1111、白山消防署262-1044

項目			確認結果	備 考
開設場所	消火栓・防火水槽等から5m以上離れている。			
	消防車等の進入路上ではない。			
	建物からの避難の支障になっていない。			
	重要な避難通路に開設していない。			
自主防火管理体制	消火器の取扱方法を知っている。			
	火気・危険物等の保管・取扱い等は適正である。			
	消火・通報・避難誘導の担当者がいる。			
消火器	消火器を1本以上設置している。			
	消火器は、腐食や安全栓が抜けたものなどを設置していない。			
火気器具	火気器具を使用中は、その場を離れない。			
	火気器具の近くには、可燃性の物品を置かない。			
	火気器具は、安定した不燃性の台等の上で使用している。			
	火気器具は、取扱説明書等のとおり適正に使用している。			
		可燃性ガス等が滞留する場所で使用していない。		
	小型発電機	燃料漏れ等はない。		
		電気コードは、コンセントに正しく差し込んでいる。		
		雨などがかかる場所で使用していない。		
		排気が携行缶・可燃物等に当たらない。		
		稼働したまま給油・移動しない。		
		途中で給油する必要がないよう燃料は十分入っている。		
		(どうしても給油する必要が生じた場合は、安全な場所で行っている。)		
		取扱説明書等のとおり、適正に使用している。		
LPガス	ボンベは、直射	日光が当たらず、火気等の近くを避けて置いている。		
	ボンベは、横置きにしていない。			
	ボンベは、倒れないように固定し、人がみだりに近づかない場所に置いている。			
	ボンベは、必要な本数以上に保管しておらず、1本あたりの最大容量は50kg未満である。			
	火気器具・ゴムホースは、LPガス専用のものを使用している。			
	ゴムホースは、劣化等していない。			
	ゴムホースの長さ等は適正である。			
	ゴムホースは、2本以上接続していない。			
	1本のボンベから2以上の機器に分岐して使用していない(分岐ごとに開閉弁があれば良)。			
カセット ボンベ	カセットボンベの装着部分が、調理器具で覆われていない。			
	カセットコンロに正しく装着等している。			
	直射日光が当たらず、火気等の近くを避けて置いている。			
まき・炭等	火の粉の飛散等について留意している。			
	終了後の残火・取灰の後始末は適正である。			
電気器具	小型発電機から	過剰に電気を供給していない。		
	たこ足配線を避け、配線の許容電流内で使用している。			
	コンセントの接続部分等に照明器具等の荷重がかかっていない。			
	雨等のかかる場所で使用している電気器具・コンセントを使用していない。 (どうしても使用する必要が生じた場合は、防水性を有している物を使用している。)			
危険物容器	指定数量の5分の1未満で必要最低限の量を保管している。			
	消防法令に適合した容器で保管している。			
	携行缶の圧力弁等の操作を知っている。			
	直射日光が当た	らず、火気等の近くを避けた安全でアースがとれる場所で保管している。		
玩具用煙火	玩具用煙火を販売する露店で、玩具用煙火は適正に保管等している。			
暖房器具	暖房器具と可燃物との距離は十分に離れている。			
	暖房器具を付けたままその場を離れない。			
	給油するときは、暖房器具の火を消してから行っている。			
*h.110± 1 1 1 5	夜間等で無人に	なるときは、LPガスボンベ等が設置されたままになっていない。		
放火防止対策	可燃物等は持ち	帰り、防炎品等が使用している。		